

第4回松本市基幹博物館施設構想策定委員会 会議要旨

1 日 時

平成28年12月19日（月）午後1時30分～午後5時00分

2 場 所

松本市立博物館2階講堂

3 参加委員

赤羽勝委員、大宮康彦委員、金山喜昭委員、菊池健策委員、倉澤聡委員、笹本正治委員、南雲多栄子委員、益山代利子委員、武者忠彦委員（50音順）（欠席委員：香山壽夫委員）

4 事務局

教育長、教育部長、博物館長、博物館事業担当課長、都市政策課長ほか

5 次第

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 議題等

ア 前回会議集約と補足説明

イ テーマ4 管理運営・建築 討議

ウ 施設構想素々案検討

エ その他

(4) 閉会

6 会議事項（要旨）

（事務局側の回答要旨は、「→」の後に掲載、委員の発言を受け別の委員が回答したものについては「⇒」の後に掲載している。）

(1) 議題アについて

質疑等なし

(2) テーマ4 管理運営・建築 討議

ア 建築の外観や構造に関する意見

・敷地の南側、千歳橋からの視線を考えたときに、天守が見えるように配慮することはできないか。（複数委員）

・敷地の南側の空間について、市はどのような構想を持っているのか。（委員）

→ 今検討を進めている段階であり、現時点でどうなる、こうなる、ということは申し上げようがない。松本城三の丸地区整備基本方針があるが、松本城大手門枳形を「都市のへそ」ととらえており、建設予定地の南側一帯についても、この「都市のへそ」との関連性から

考えていきたい。

- ・まちづくり協定を守るのは原則だが、やむを得ず、ということも考えられるのではないか。(委員)

⇒ 公共施設は守るべきだと考える。

- ・効率性等の観点から考えると、一棟建ての方がよいのではないか。また、分棟とした場合、千歳橋から天守までの視線を確保するというのが難しくなるのではないか。(複数委員)
- ・建ぺい率きっちりに建物をつくってしまうと、箱に人を閉じこめるようなイメージになる。人の出入りが見えるようにつくっていただきたい。(委員)

イ 内部空間（諸室の配置や配分等）について

- ・原則としては収蔵と展示を別の階にしないように考えていただきたい。(委員)
- ・交流・情報交換機能や学習支援機能が打ち出されている割に、展示に大きく面積が咲かれているのではないか。全体的なバランスを考え、面積の割り振りを検討した方が良いのではないか。(委員)
- ・資料1-3に具体的に実施を考えている事業があがっているので、そうしたコンテンツをベースに空間を考えていただきたい。(複数委員)

⇒ コンテンツ優先との話もあったが、博物館の機能として本当に大切なのは何か、それは収蔵や展示であって、そこからキャリア支援（交流・情報交換機能）を見る、というのでもいいのではないか。

- ・限られた面積の中で、収蔵がネックになるのではないか、コレクションのマネジメントを考えなければならない。ここにすべてを収蔵することはできないとの大前提で進めてほしい。(委員)

ウ その他

- ・博物館は、図書館や文書館、美術館と何が違うのか、博物館としてどのような方法で、何のために、何を、誰に対してやっていくのか考えてほしい。(委員)
- ・松本市立博物館には、地域の博物館として新たに挑戦すること・ものが求められている。事業費を10倍に生かすぐらいのものにしなければならない。(委員)
- ・社会変化に応じ、人・地域を元気にする方策を考えたい。地元住民からまち、そして市域全体の活発化を目指す、そうした理想をもって前に進んでいきたい。(委員)

(3) 施設構想素々案の検討

ア 構成について

- ・章立てが複雑すぎてわかりづらい。(委員)

イ 記載内容について

- ・基本計画の基本理念の記載があり、さらに施設構想の基本理念がでてきており、関係性がわからない。(委員)
- ・構想によって、何を訴えたいのか、訴えるべきことは何か、基幹博物館は何が新しいのか、整理をしていただきたい。(委員)
- ・展示について、今回当初提案された9つのテーマを5つのテーマにしぼったと説明があったが、これらのテーマの関係性、ストーリーがみえてこない。全体を見た人が松本学を感じ取れるようなものにしていただきたい。5つとしたテーマについても、それぞれに大きな柱・複数の要素が必要。例えばこれらのテーマと三ガク都はどのように関係性を持たすのか。(複数委員)

- ・松本学は常にバージョンアップされるべきもの。それに伴い常設展示も毎年でも変わるようになっていけば良いのではないか。また、常設展示が変わるということは、来館者にとって新鮮な感じを常に作り出すことにもつながる。松本の博物館のブランド力をどのように造っていくのか、考えていただきたい。(複数委員)

⇒ 一方で、常設展示の変わらなさも大事だと思う。

- ・展示も、その空間は展示だけをやると規定するのではなく、その空間でも交流をするとか、展示と何かを掛け合わせるといことも考えてよいのではないか。(委員)

ウ その他

博物館にとっての一番の宝は、どれだけ汗をかいてくれる学芸員がいるかにかかっている。この前提はぜひ意識しておいていただきたい。(委員)